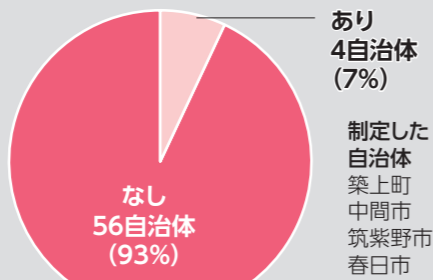


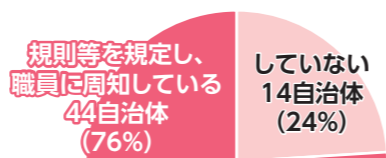


議員や市長等を対象としたハラスメントに関する条例の制定状況（福岡県内）



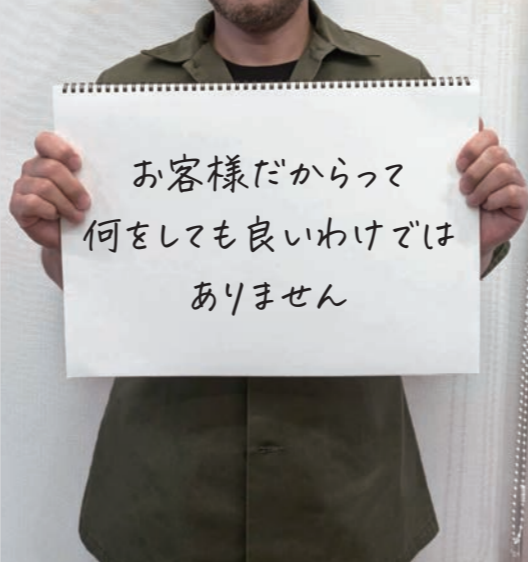
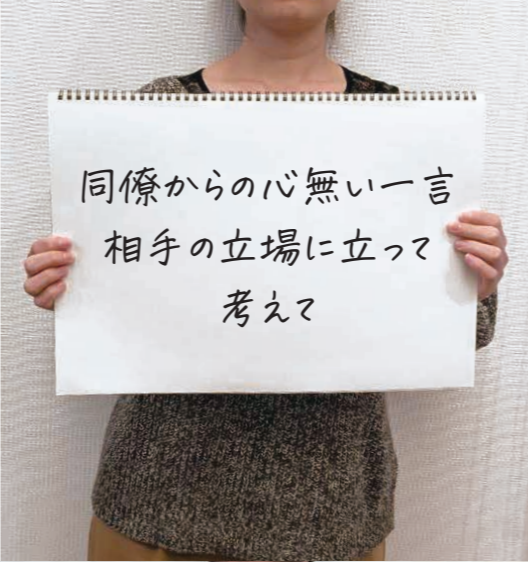
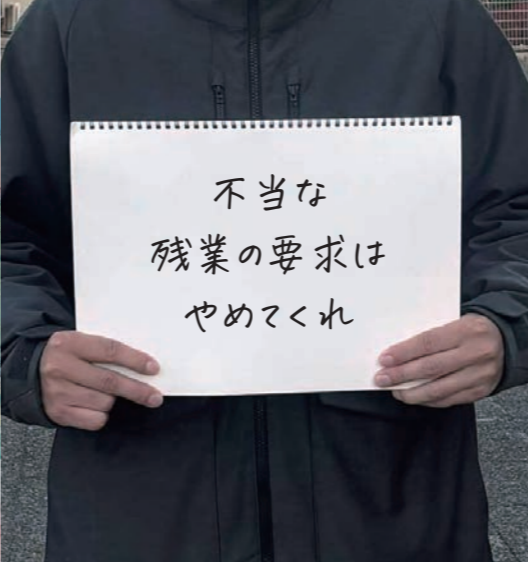
出典：一般社団法人 地方自治研究機構
「首長等や議員によるハラスメントに関する条例 制定状況」

職員を対象としたハラスメントに関する規則等の規定状況（福岡県内）



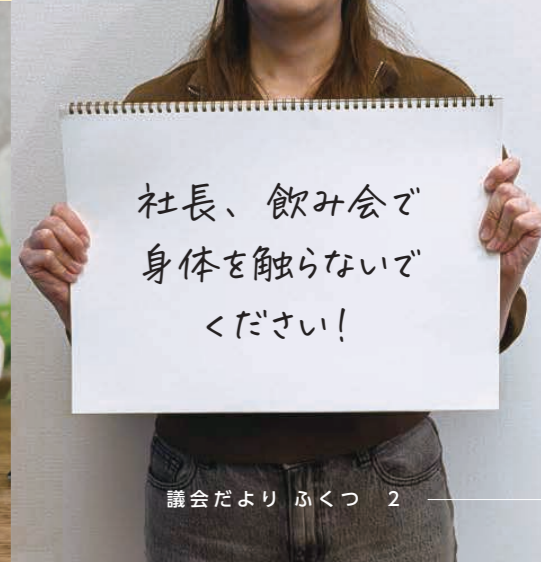
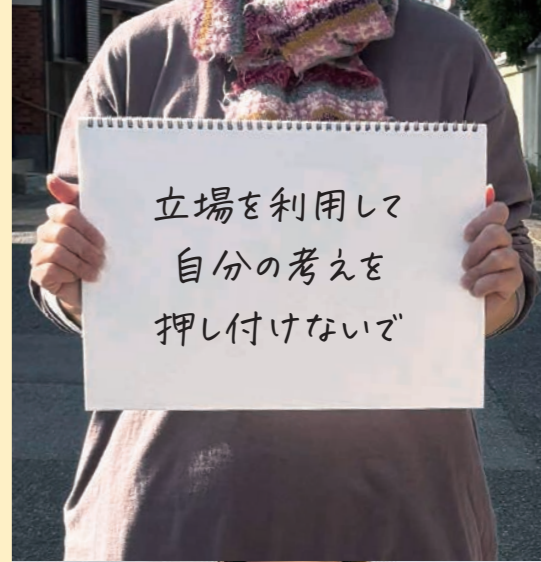
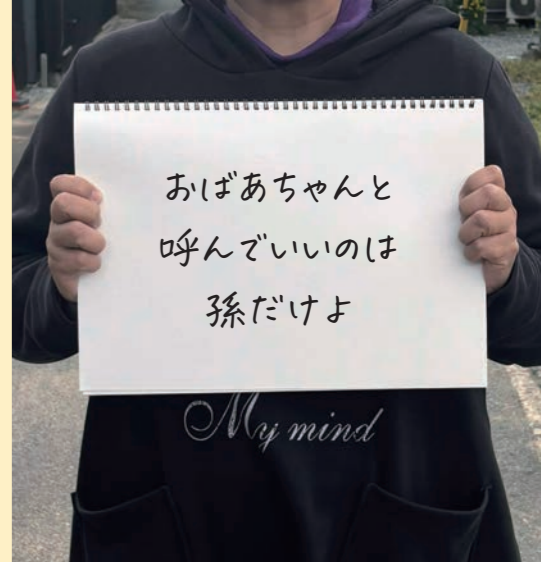
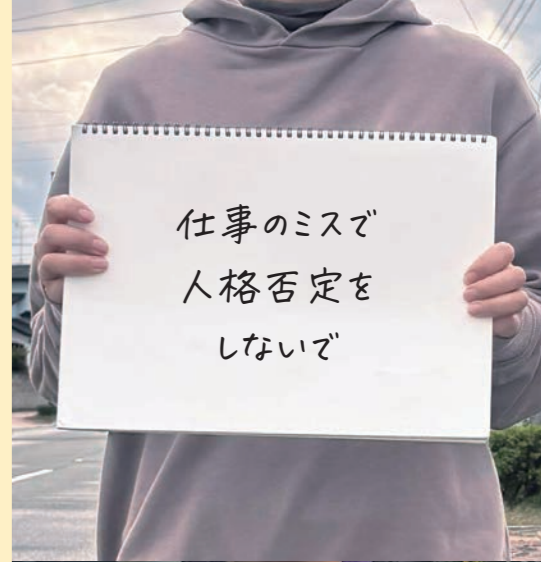
福岡市は令和2年にハラスメント防止規程を規定。その対象は特別職を除く一般職員としている。

出典：総務省女性活躍・人材活用推進室
「地方公共団体における各種ハラスメント対策の取り組み状況調査」



今、社会のあらゆるところでニュースになっている「ハラスメント」。ハラスメントはさまざまな人間関係の中で起こる可能性があります。どうして、ハラスメントは起こるのでしょか。私たちはハラスメントについて、どこまで理解しているのでしょうか。今回の特集では、ハラスメントを受けた経験がある市民にインタビューをしました。また、特別職（議員や市長等）にまつわるハラスメントや票ハラスメントについて調査し、議会関係者にインタビューをしました。

ハラスメントって!?



筑紫野市議会は 条例制定に動いた

議員がハラスメントを行う事もあれば、受ける事もあります。そのため、議員に関するハラスメント防止条例を独自で制定する自治体が徐々に増えています。そこで昨年、福岡県内でハラスメント防止条例を制定した筑紫野市議会の議長にお話を伺いました。

筑紫野市議会議長インタビュー

筑紫野市議会も若い議員が増えましたが、世代によって考え方が違います。そのため、悪気なく発した言葉を、受け取る側はハラスメントと捉えることがあります。この条例は、価値観等の違いはありますが、人権や尊厳を大事にしようというのが特徴です。また、議会等で議論が白熱し、つい口調が荒くなってしまうこともあります。それもパワハラと規定しているのが大きな特徴です。条例は制定しましたが、今後使われないことを願っています。



議員や市長等から 職員へのパワハラ!?

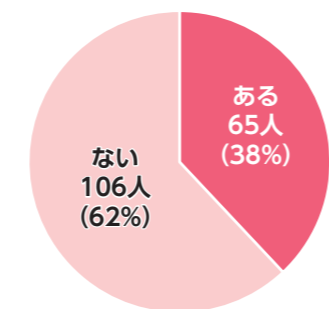
皆さんは報道等で議員や市長等が自治体職員に対して声を荒げたり、威圧的な行為をしたりしている姿を見たことはありませんか。全国各地でこのようなハラスメント報告事例があり、自治体によっては独自でハラスメント防止条例を制定するところもあります。現在、全国では80自治体で議員や首長等に関するハラスメント防止条例が制定されています（令和6年12月16日現在）。

※通常、職員については、自治体の要綱や規程等で定められます。議員については、政治倫理条例で規定する政治倫理基準で定められている場合があります。



議員から市職員へのハラスメントに関わる実態調査（兵庫県三田市）

議員からハラスメントを受けたことがあるか



どのようなハラスメントだったか (トップ5)

順位	ハラスメントの種類	人数
1	威圧的・高圧的な言動や態度をされた	57人
2	対応や回答(答弁)に罵倒された	39人
3	大声で叱責された	30人
4	執拗に質問や批判を繰り返された	19人
5	理不尽な要求をされた	16人

出典：三田市「議員からのハラスメントに関する実態調査アンケート」

Harassment

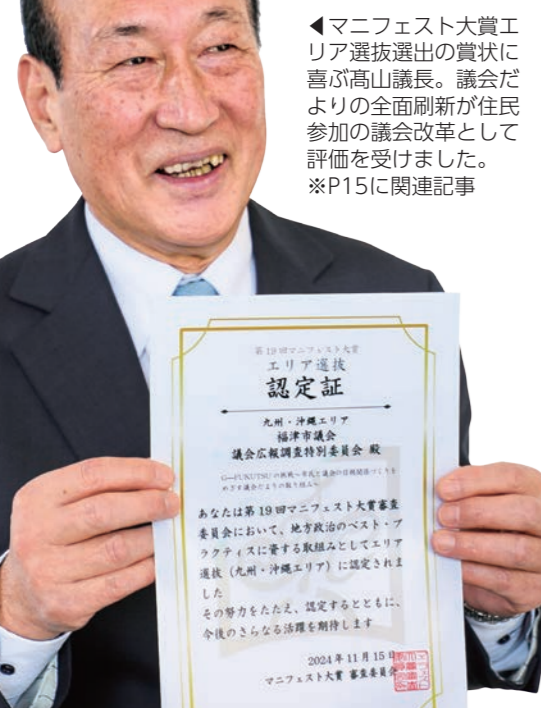
- セクハラ
- モラハラ
- マタハラ
- パワハラ



あけましておめでとござい
ます。
昨年、復活50年を迎えた津
屋崎祇園山笠など、数々のイベ
ントが盛大に開催され、賑わい
が戻った1年となりました。
そして、今年1月には福津市
が市政20年を迎えました。また、
まもなく旧玉乃井旅館が市内3

例目の国登録有形文化財に登録
されますので、さらに関係人口
の増加が期待されます。
議会では、令和5年3月から
議会基本条例の検討を重ねてき
た特別委員会の報告を受け、新
年度からは最終結論に向けて協
議を進めて参ります。
さて、今特集の「ハラスメン

ト」は、全ての人に起こり得る
ことです。それぞれが他人事
ではなく我が事として捉え、住み
よい社会となるよう願います。
本年も、議会として市民の負
託に応え、明るい未来を築くた
めに邁進する所存でございます
ます。何とぞ、皆様のご
支援とご協力をお願い
申し上げます。
福津市議会議長
高山 賢二



マニフェスト大賞エリア選抜選出の賞状に喜ぶ高山議長。議会だよりの全面刷新が住民参加の議会改革として評価を受けました。
※P15に関連記事

選挙後の挨拶行為



イメージ

選挙運動の妨害



イメージ

金銭の要求・提供



イメージ

飲食物の要求・提供



イメージ

選挙期間中の戸別訪問



イメージ

福岡県における 議会関係ハラスメントを 根絶するための条例

第3条（県議会議員等の責務）

県議会議員及び県議会議員になろうとする者は、公職に参画し、又は参画しようとする者として高い倫理観が求められること及びハラスメントが個人の尊厳を不当に傷つけ、人格権その他の基本的人権を侵害する行為であることを自覚し、政治活動等における自らの言動を厳しく律しなければならない。

第10条（市町村議会との連携）

福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するため、議長は、県内市町村議会に関するハラスメント根絶のための活動の支援、協働その他県内市町村議会との連携に取り組むものとする。



福岡県議会が主催する議会関係ハラスメント根絶のための議員研修会

票を失いたくないから我慢をする……。
皆さんは「票ハラ」を知っていますか。これは「票ハラスメント」の略称で、選挙や政治活動において有権者が候補者に過度な要求や圧力をかける行為を指します。特に女性や若い候補者が性別や年齢に基づく差別や偏見を受けやすく、標的となってきました。最近では、政治参加への障壁の一因としても問題になって

議員への票ハラ!?

福岡県議会インタビュー

Q 議会関係ハラスメント防止の経緯は
県内の実例や内閣府の調査で、議会内の力関係によるハラスメントや有権者等からの票ハラが女性や若者の議員活動と政治参画を阻害している実態が判明しました。県議会が根絶に取り組むべきとの認

Q 議会関係ハラスメント防止の取り組みや具体策は
県内地方議会の議員全てを対象としたハラスメント防止研修を実施しています。また、被害者救済のために相談窓口を設置しました。

Q 議会関係ハラスメント防止に関して啓発したい内容は
議員等には、ハラスメントだけでなく疑わしい言動も自粛する高い倫理観を求めています。また、県民にも票ハラを含めたハラスメント根絶への協力をお願いします。

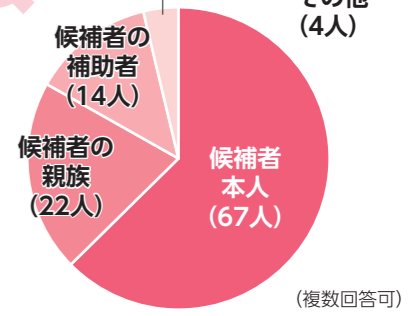
令和5年度統一地方選挙候補者 （市町議会）に対するアンケート

選挙期間中に
ハラスメントを受けたか

	全体	性別		
		男性	女性	記載なし
アンケート回答者	347人	280人	62人	5人
ハラスメントを受けたと回答	72人	45人	26人	1人
ハラスメントを受けた割合	20.7%	16.1%	41.9%	

・概ね5人に1人がハラスメントを受けたと回答

誰がハラスメントを受けたか



候補者本人がハラスメントを受けた回答の年代別、性別内訳

	全体数	20~30代		
		合計	性別	
			男性	女性
アンケート回答者	339人	21人	16人	5人
ハラスメントを受けたと回答	65人	13人	8人	5人
ハラスメントを受けた割合	19.2%	61.9%	50.0%	100%

・20~30代のアンケート回答者でハラスメントを受けたと回答した割合が高い

どのようなハラスメントを受けたか（トップ4）

順位	内容	人数
1	暴力的な言葉（ヤジを含む）による嫌がらせ	41人
2	年齢、婚姻状況、出産や育児などプライベートな事柄についての批判や中傷	38人
3	SNS、メール、怪文書等による中傷、嫌がらせ	33人
4	投票、支持の見返りに何らかの行為を要求	28人

出典：福岡県議会「令和5年度統一地方選挙候補者（市町議会）に対するアンケート」